

6 - 2 中部地方北西部（飛騨地方北部及び周辺）の最近の地震活動(7) 1982年7月～12月

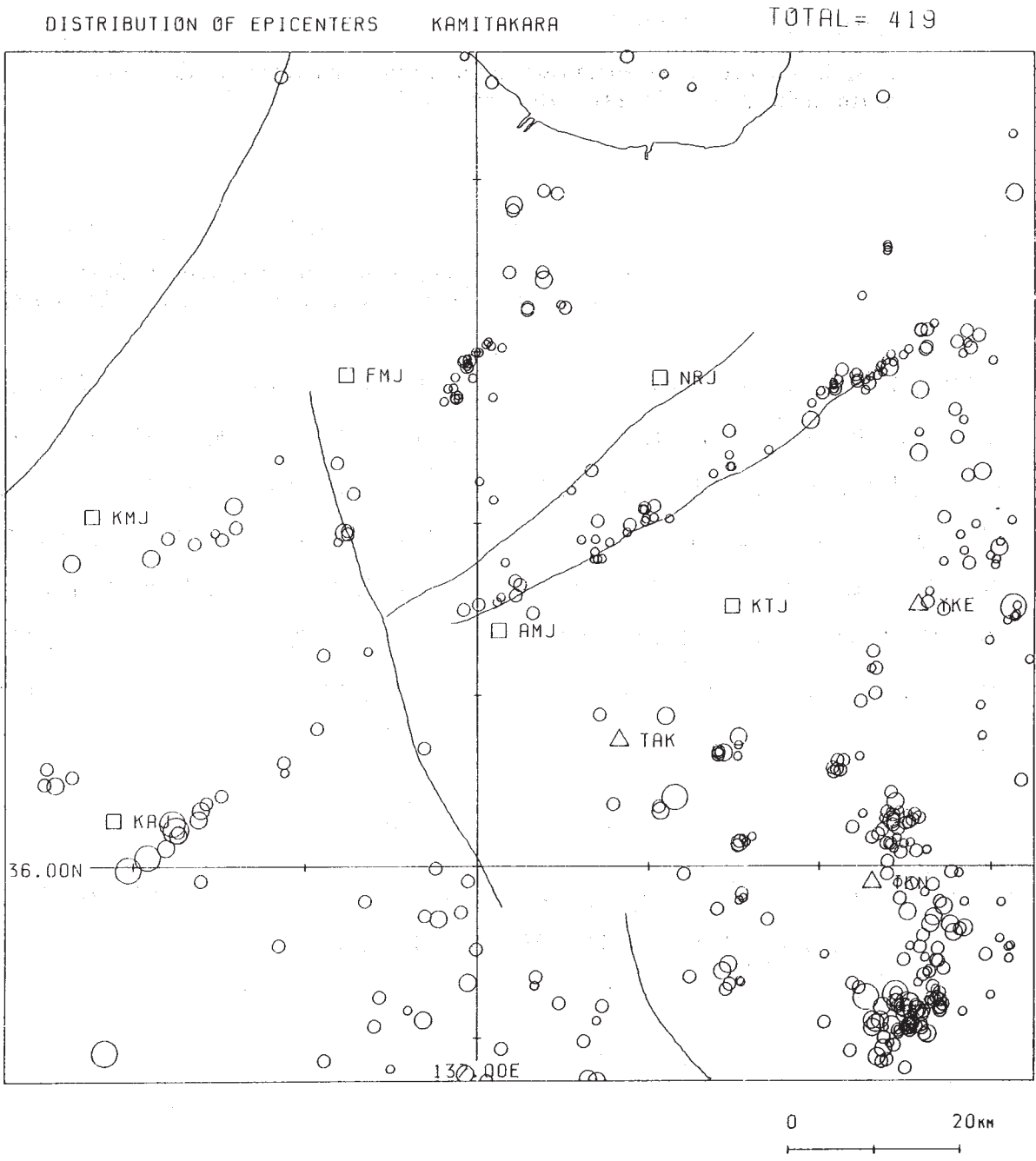
Seismic Activity in the Northwestern Chubu Region (Northern Hida and its Surrounding Areas) (7) July - December, 1982

京都大学防災研究所 上宝地殻変動観測所
Kamitakara Crustal Movement Observatory
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

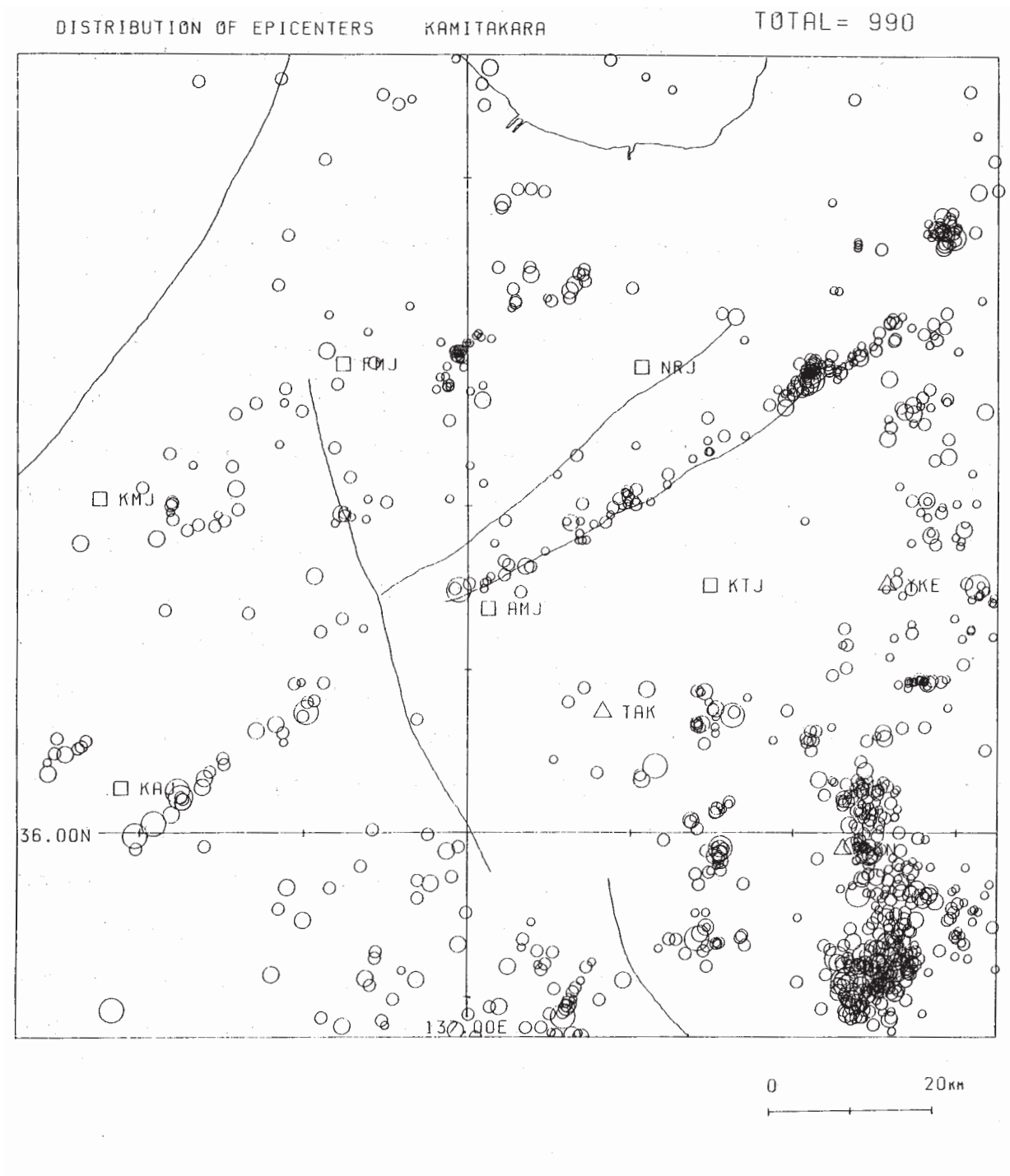
1982年7月より12月迄の最近の半年間の地震活動状況を第1図に示す。この期間の活動は全般的にあまり活発ではなかったが、 $M > 3$ 以上の地震を含む群発活動は次の通りである。7月12日高山東南方に $M = 3.5$ の地震が発生、8月21日富山湾西端の永見市付近（この図のすぐ北側 $137^{\circ}E$ 付近）に $M = 3.3 \sim 3.1$ の3個を含む6個の群発地震があった。また12月18日飛騨山脈上高地北側で $M = 3.1$ ほか6個の群発地震、12月26日より12月30日の間に $M = 3.4$ を含む11個の群発活動が赤兎山周辺に発生した。第2図は1982年1年間のこの地域の活動を示すが、跡津川断層沿い、飛騨山脈下の活動など、基本的にはこれ迄の活動パターン¹⁾は変わっていない。

参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所・上宝地殻変動観測所：中部地方北西部（飛騨地方北部及び周辺）の最近の地震活動(6)，連絡会報，**29**（1983），292 - 296.



第1図 飛騨地方北部の地震活動（1982年7月～12月）
 Fig. 1 Seismicity in the northern Hida region, July - December, 1982.



第2図 飛騨地方北部の地震活動（1982年）

Fig. 2 Seismicity in the northern Hida region, January - December, 1982.